

令和6年3月

■一般文学

「名探偵のままできて」

・著:小西 マサテル

・出版者:宝島社

2023年『このミステリーがすごい』大賞受賞作。レビー小体型認知症を患う祖父が、安楽椅子探偵となり、孫娘の持ち込む様々な「日常の謎」に挑む連作ミステリー。孫娘と祖父のやりとりに優しさや切なさを感じます。

大学在学中から放送作家として活躍してきた作者のデビュー作。自分でも推理小説を書いてみたいという長年の夢と、父が患っていたレビー小体型認知症に関するより正確な理解を広めたいとの思いが、理想的な形で結実した作品だったとインタビューで答えています。

たびたび出てくる古典ミステリーの引用やオマージュ、あなたはどれくらいわかるでしょうか？

(対象 一般)

■一般書

「都道府県別ご当地ソング大百科 ～県民性でひもとくご当地ソングの秘密～」

・著:合田 道人

・出版者:全音楽譜出版社

「ご当地」と言えば、何を思い浮かべますか？

グルメ、キャラはすぐに思いつきそうですが、マルシェ、ヒーロー、マンホール、ナンバープレートなど、その土地ならではのさまざまな種類がたくさんあるようです。その中で今回見つけたのが、ソングです。

この本は、日本全国の町や、地名、特色などが盛り込まれた歌を都道府県別ベスト10で紹介しています。著者の独断と偏見ではあるものの、小学生から90歳までのアンケートを元に、県民性を加味しながらの結果が出ています。

さて、わがまち岐阜県はどんな曲がランクインしているのか！？

(対象 一般)

■児童書

「大接近!工場見学 3 (ガンプラの工場 プラモデル)」

・構成、文:高山 リョウ

・出版者:岩崎書店

「大接近!」シリーズで刊行されている本の中から選んだ一冊です。工場見学全5巻、ごみとリサイクル編、SDGs リサイクル編、スポーツものづくり編はそれぞれ全6巻からなる一大シリーズではありますが、とても読みやすい文章、イメージをつかみやすい写真・構成で、身近なモノから日本のものづくりの一端に気軽に触れられます。

こちらのガンプラなら「今はコンピュータで色々出来るけど、昔は設計図、というか何もかもが手書き、手作業スタートだったような…」「やっぱり基本はザクかなあ…赤いと三倍上手に作れるかも」「とりあえずこの制服着て工場ウロウロしたいなあ」等々皆さん思い思いに想像を抱かれ、実際に作る時の楽しさも増すでしょう。冷静に考えたら、実物大ガンダムがそびえ立っている(しかも動く!!!) 現在、♪アニメじゃない ホントのコトさ♪とはよくいったモンです。

(対象 小学中学年から)

■絵本

「タローズベーカリー」

・絵:影山 直美

・文:さの ももこ

・出版者:マイルスタッフ

あるところにたろうという柴犬がいました。たろうはふつうとすこしだけ違ったところがありました。それはパンを作って売っているのです。その名は『タローズベーカリー』。これが意外と繁盛していたのですが、やはり商売。パンが売れ残ってしまう日がありました。売れ残りのパンは責任を持ってタローが食べていたのですが、ある日、その姿をお客さんに見られてしまったのです。うわさはすぐに広まり、タローの店ははやらなくなってしまいました。しかし、タローのパンのファンという女の子がやって来て…

イラストは『柴犬さんのツボ』でおなじみの影山直美さんが描いた絵本です。

(対象 幼児)